

■**斎藤喜博** 教師こそが初等教育の原点と、教組と国との間に立って、全国的な模範となる実践活動を続けた。

さいとうきはく
大逆事件判決1911＝ 群馬県佐波郡芝根村で、竹細工職人斎藤道蔵・けむの次男に生まれる。兄は17上、14上と8上の姉がいた。
明治天皇没・1912＝ 1歳：
大正政変・1913＝ 2歳： 弟が誕生。
父から孤独を好み気分屋で筋通す職人氣質を受け継ぎ、既に死去していた芸術家的文人だった祖父霞城に誇りをもって影響を受け、6人兄弟中自ら含め4人が小学校教師になるという環境のなか、
民本主義・1916＝ 5歳： 右足大腿部に内瘍ができ切開手術、大きな傷跡が残る。
ロシア革命・1917＝ 6歳： 妹が誕生。
気弱で病弱で、姉たちに遊ばせて貰いながら、利根川によって太い芯が形作られて成長。

大暴落・1920＝ **9歳**：
原敬首相暗殺1921＝10歳：

関東大震災・1923＝12歳： 芝根尋常高等小学校尋常科を卒業し、高等科に進む。

治安維持法・1925＝14歳： 卒業し、**群馬師範学校本科第一部に入学**。
寄宿舎生活で、野蛮な上級生らからかわかれて傷つく一方、落第しそうなところを担任が涙の訴えをしてくれて進級、軍国主義化して行くなか、一人毅然とした金子教師をみて私淑、

世界恐慌・1929＝**18歳**： 作歌始め、{上州新報}文芸欄や{東京日々新聞}の斎藤茂吉選考の欄に投稿。御前演習行進に参加し感激。
海軍軍縮条約1930＝19歳：**卒業し、佐波郡の玉村尋常高等小学校に赴任。宮川静一郎校長から教育実践の基本を習得**。
満州事変・1931＝20歳：
五一五事件・1932＝21歳： 肺炎カタルで温泉治療。{アララギ}に入会。宮川校長に授業その他について四つの要求を出す、
国際連盟脱退1933＝22歳： 宮川校長が異動となり実現せず、若い教師らで{土曜会}組織。土屋文明の選を受けるようになり、
帝人疑獄事件1934＝23歳： 病臥し重態となるも生徒らの全快祈願で回復し復帰、美談として新聞記事になる。
芥川直木賞始1935＝24歳： 初めて土屋文明に会う。{土曜会}の機関誌(草原)発刊、
二二六事件・1936＝25歳： おそらく、歌人としての将来は放棄し、生活の武器として、“博葵志”の名で猛烈に作歌始める。
日中戦争始・1937＝26歳：
健保+総動員 1938＝**27歳**：

大政翼賛会・1940＝29歳： {草原}第2～4号。
日米開戦・1941＝30歳： {草原}第5号。結婚。***処女出版「教室愛」**。
・1942＝31歳： {土曜会}解散し、
創価学会検挙1943＝32歳： {草原}第10号で終刊。**芝根村国民学校に転任**。
年金+総武装 1944＝33歳： 小学校教師だった弟が出征先で戦死。
敗戦・1945＝34歳： 南洋庁で小学校長していた兄は、敗戦後、台湾で病死。
新憲法公布・1946＝35歳： 「童子抄」。川戸の疎開していた土屋文明の後押し得て、歌誌{ケノクニ}創刊、編集所便(後記)執筆。
新憲法施行・1947＝**36歳**：**新制玉村中学校に転任**、

三大事件・1949＝38歳： 佐波郡中学校教務主任会副会長、**県教組常任執行委員・文化部長となり専従、現場を離れ**、
朝鮮戦争始・1950＝39歳： 「続童子抄」出版。_「利根川の瀬の音」が{新しい国語}に採用され、「教室愛」がNHKで朗読放送。
独立回復・1951＝40歳： 土屋文明が東京に戻る。第一歌集「羊歯」。**前年組合員対象に実施した大がかりなアンケートの結果を、“封建性の残滓”見出しつき冊子として発行。「教育組合文化部活動の目標と方策」執筆し、全組合員に配布**。
メーデー事件・1952＝41歳： 校長会や文明に反対されるなか、僻地_島村小学校長に抜擢され、現場に復帰。早速教師の異動に着手、
自衛隊発足・1954＝43歳： NHK番組{友への手紙}に出演。教育二法案公述人として衆議院文教委員会に出席、それが原因で腹膜炎等起こし手術、一時重態となる。**島小公開研究会を開始、以後毎年、全国各地から参観者が来訪**、

55年体制始・1955＝44歳：***以後、転勤になるまで一人の教師の異動もない強固な校内教育体制を確立**、
国連加盟・1956＝**45歳**： 「石をもて追われるごとく(小さい歴史)」発表。
この間、自ら作詩したものに音楽教員が作曲した{島小職員合唱レパトリー}が次々つくられ、
インスタントラーメン・1958＝47歳： {アララギ}有名歌人批判など、書き続けてきた{ケノクニ}編集所便終わる。「学校づくりの記」
この間、2度教委ほかの策謀で追い出し運動起こるも、村民らの強い反対運動で留任。
安保闘争・1960＝49歳： {島小職員合唱レパトリー}に「一つのこと」が登場。
この間、島小のことを、木村莊十二や新藤兼人が映画化するが、いずれもひどい作品に終わる。
全国総合計画1962＝51歳： 長編叙事詩「利根川」。**{文藝春秋}企画の文部大臣島小視察記を拒否し、逆提案で、大江健三郎のルポルタージュ「未来につながる教室」が掲載される**。
TV宇宙中継始1963＝52歳： 前任者の急死で、**突然境東小校長に転勤となり、島小時代11年が終わり**、
東京オリンピック 1964＝53歳： 「授業の展開」。**「島小物語」刊行。わずか1年で、最大規模の境小校長に転勤、教師の育成に専念**、
大学紛争始・1965＝**54歳**：
いざなぎ景気1966＝55歳： {文芸春秋}から**「可能性に生きる」が出版され、広く知られるようになる**。
この間、重要な著作を次々と発表、当時教育界で著名だった無着成恭も批判、
美濃部都知事1967＝56歳： 要請受け、神戸の御影小学校の指導に入る。以後、全国10校近い学校の指導に向いて行くことになる。
全共闘・1969＝58歳：***40年つとめてきた教師を、退職。一気に多忙に。「教育学のすすめ」刊行、{斎藤喜博全集}配本始まる**。
大阪万博・1970＝59歳： 境小・島小合唱集「風と川と子どもの歌」刊行。教研全国大会で_宮城教育大学長林竹二と初対面し、
トシヨック・1971＝60歳： 朝日新聞のアンケート「ほんとうの教育者は」に師範学校時の金子教師のことを取り上げ、のち、探し出して、雑誌上で対談。肝炎の診断受ける。**各地の大学の教育学部非常勤講師をつとめ**、
夜間定時制の室蘭市立啓明高等学校の指導に迎えられ、
日中国交回復1972＝61歳：
石油ショック1973＝62歳：
角栄金脈辞任1974＝**63歳**： レコード「いのち、この美しきもの」。御影小学校の指導が終わる。**ついに宮城教育大学教授となるも、**
クアンパール事件1975＝65歳：**即退任に追い込まれ**、
田中角栄逮捕1976＝65歳：**名著「君の可能性～なぜ学校へ行くのか」**。
JALハイジャック・1977＝66歳：***長編叙事詩「利根川」が作曲されて全国使用の表現教材に。啓明高等学校の指導が終わる。林竹二と訣別**。
革新大敗北・1979＝68歳： 黄疸が出、肝硬変へと、病気が進行するなかにも、各地を飛び回っていたが、
・1981＝70歳： 入院し、**没した**。